



～80周年に向けて2つのプロジェクトを発足

「人を大切にする」想いを、カタチに。

矢崎グループでは、社内だけでなく、地域社会への将来的な展開も視野に入れ、グローバルに活躍できる人材を育成する「国際理解教育支援センター準備プロジェクト」と、従業員と会社組織の健康を総合的に考える企業文化の形成と健康経営の実現に取り組む「ウェルネス推進プロジェクト」の2つのプロジェクトを立ち上げました。

グローバル人材の育成をめざす「国際理解教育支援センター準備プロジェクト」

「世界とともにある企業」として、従業員の異文化対応力、創造力、自主性、語学力の向上を支援し、自分自身と向き合いチャレンジするグローバル人材を育成します。

また、「社会から必要とされる企業」として、地域の教育機関や企業におけるグローバル人材の育成支援も視野に入れ、国際理解教育に関する支援活動の幅を広げたいと考えています。

プロジェクトの一環である『アドベンチャースクール』は、1993年から実施しており、これまでに滞在国44カ国で約1,300名が参加しました。



新入社員の海外武者修行
『アドベンチャースクール』

人と組織の双方の健康の実現をめざす「ウェルネス推進プロジェクト」

本当の健やかさは、仕組みやシステムの導入だけでは得られません。『ウェルネス推進プロジェクト』は、会社組織のなかで、従業員が健康な生き方・働き方を身につけ、育むことができる文化を形成していくことを目的としています。

「矢崎で働く元気になる」と言われる会社になりたい。

組織を形成するのは「人」であり、その「人」が健康であれば「組織」により影響を与えます。また、健康な「組織」は「人」が人間的に成長する土壌となります。健康に働く「人」が増えることで、生産性の高い「組織」に変わり、「人を大切にする会社」の基盤になると考えます。



矢崎グループが考える健康を、5つの要素で表現したものが「矢崎のウェルネスホイール」です。ウェルネス＝健康とは、単に身体に怪我や病気がないというだけではありません。人としてトータルに健康であるためには、5つの要素がバランスよく満たされている必要があります。

矢崎のウェルネスホイール

